

事務事業名	しょうばら縁結び事業
-------	------------

所管	企画振興	部	自治定住	課	
実施期間	平成	28	年度～	年度（終期設定が無い場合は終期を空白）	
予算科目	会計	款	項	目	事業
	01 一般会計	02 総務費	01 総務管理費	07 自治振興費	0405 定住促進事業
対象者	結婚を希望し、本市へ定住する者			対象者数など 会員登録者292人	
根拠法令等					
HPアドレス	<a href="https://shobara-enmusubi.jp/">https://shobara-enmusubi.jp/</a>				
実施目的	初婚年齢や未婚率が上昇し、晩婚化・未婚化が人口減少の大きな要因となっている社会背景を踏まえ、庄原市在住あるいは結婚後庄原市内に生活の拠点を置く予定の未婚者のうち、結婚を希望する者の活動を支援し、もって対象者の定住を促進する。				
事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■縁結び支援体制の構築と強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①縁結び支援員や縁結び応援隊員の配置と育成</li> <li>②ホームページの運用</li> </ul> </li> <li>■会員の縁結び支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①お見合いの開催</li> <li>②出会いイベントの開催</li> <li>③セミナーの開催</li> <li>④相談会の開催</li> </ul> </li> <li>■企業・団体等の結婚支援ネットワークの構築</li> </ul>				
年度別実績概要	平成30年度	結婚を希望する者に出会いの場を提供し、成婚へと結びつけることを目的に、縁結び事業に取り組んだ。 ■会員登録 男性275名、女性216名、合計491名 ■イベント 大結び(20対20程度)2回 中結び(6対6程度)6回 小結び(1対1)39回を開催			
	令和元年度	結婚を希望する者に出会いの場を提供し、成婚へと結びつけることを目的に、縁結び事業に取り組んだ。 ■会員登録 男性225名、女性173名、合計398名 ■イベント 大結び(20対20程度)1回 中結び(6対6程度)8回 小結び(1対1)40回を開催			
	令和2年度	結婚を希望する者に出会いの場を提供し、成婚へと結びつけることを目的に、縁結び事業に取り組んだ。 ■会員登録 男性179名、女性113名、合計292名 ■イベント 大結び(10対10程度)1回 中結び(5対5程度)4回 小結び(1対1)17回を開催			

実績指標 (単位:千円)

事業費 (インプット)	項目	内容	H30	R1	R2	計
	事業費	委託料	業務委託	8,242	7,555	6,635
						0
						0
		計		8,242	7,555	6,635
財源	国県支出金			464	281	745
	地方債					0
	その他	過疎地域自立促進基金	7,941	6,641	6,354	20,936
	一般財源		301	450	0	751

実績 (アウトプット)	指標名称	単位	基準値	H30	R1	R2	計
	実績 (アウトプット)	1 イベント開催数	回		47	49	22
2							0
3							0
成果 (アウトカム)	1 成婚人数	人		19	13	5	37
	2						0
	3						0
備考							

事務事業名	しょうばら縁結び事業
-------	------------

評価項目	所管課	市民意見	評価委員会	評価平均(上段)・分布(下3段)	
(評価は、A=1,B=0,C=△1とした平均値で、A,B+,B-,Cの5段階判定)				市民意見	評価委員会
<b>優先度</b>	B	A	B	0.5	0.1
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。			2	2
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。			2	4
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。			0	1
<b>認知度</b>	B	B+	B	0.3	0.0
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。			2	1
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。			1	5
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。			1	1
<b>有効性</b>	C	C	C	△ 0.8	△ 0.4
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。			0	0
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。			1	4
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。			3	3
<b>受益者満足度</b>	B	-	B	-	0.1
※受益者: 結婚を希望し、本市へ定住する者					
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。			0	2
B	どちらともいえない。			0	4
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか)			0	1
<b>市民(納税者)納得度</b>	C	B-	B	△ 0.3	0.1
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。			0	2
B	どちらともいえない。			3	4
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。			1	1
<b>代替性</b>	C	C	C	△ 0.5	△ 0.7
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。			0	0
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。			2	2
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。			2	5
<b>まちづくり基本条例適合性</b>	C	B-	C	△ 0.3	△ 0.4
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。			0	0
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。			3	4
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。			1	3

所管課評価	その他の見直し
視点	結婚希望者への支援として、しょうばら縁結び事業を庄原市総合サービス(株)へ委託し事業を実施しているが、費用対効果が低い事業となっている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうばら縁結び事業について、女性会員が減少し、イベント等の実施が困難となっており、今後、事業のあり方について検討する必要がある。</li> <li>・広島県では、婚活支援事業に取り組んでいたが、県の監査において、「事業成果を婚姻組数という観点から見た場合、経済性、有効性の観点から疑問がある」などと指摘を受け、事業を抜本的に見直し、「ひろしま出会いサポートセンター」の運営を民間に移管(3年間は補助金を交付し、その後は自立運営)されている。本市の事業においてもあり方の再検討が必要となっている。</li> </ul>

事務事業名 | しょうばら縁結び事業

**市民意見  
(プラモニ)**

※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。)

分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	その他の見直し	総回答数
	0	1	0	0	3	4
主な意見	<p>【その他の見直し】・協力企業として参加したのですが、結局何だったのか正直よく分かりません。独身男性の社員を多数抱える立場として、会社から何らかの形で会への参加を促したり協賛したりすることが出来るのかと思っていましたが、イベント開催の案内も1~2回目にしただけで全く何をやっているのか分かりませんでした。</p> <p>・マッチングアプリやスマホを活用したコミュニケーションの方法を研究し、出会いの機会、コミュニケーションの時間が持てればよいのではないのでしょうか</p> <p>・費用対効果としての説明がありますが、3年間、成婚人数37名、一人当たり経費約20万円。時間の経過と共に、新鮮さが薄れてきているとも感じますが、十分な効果はあると思います。</p> <p>・庄原市にとって重要な課題、手法の見直しを含めて、今後ともしっかりと取り組んでいただきたいと思います。</p>					

事務事業名 しょうばら縁結び事業

行政評価  
委員会評価

その他の見直し

※行政評価委員会の摘録(会議内容)はホームページに掲載しています。

総括  
意見

婚活支援事業は、本市の重要な課題である人口減少や少子化対策への一環として必要であり、また、本市においては民間主体での事業実施は難しい面があることから、市のサポートを継続されたい。  
なお、その手法については、時代の変化に合わせ、より気軽に参加できる事業形態とすることや、幅広い広報活動の実施を図られたい。



※委員会における最終的な評価として総括したもので、分布の多い評価を優先するものではありません。

分布	現行どおり 1	拡充	縮小	終了	その他の見直し 6
----	------------	----	----	----	--------------

各委員  
の意見

【現行どおり】

⑦今は、コロナの影響でなかなか実施は難しいかもしれませんが、出会いの場を作り、庄原に迎え入れて家族を増やして欲しいので、事業継続を望みます。

【その他の見直し】

①本市においても婚姻年齢が上がり未婚率の増加など大きな問題となっており、人口減少や少子化対策に婚姻対策事業は最も効果がある。本事業においてはこれまで様々な形で取り組みをされたが、大きな成果となっていない現状にある。今後については縁結び支援員などの育成強化や企業・団体等を対象とした会員拡大やインターネットを活用した事業展開など今後も内容をより充実した形での見直しが必要と思われる。

②カップル成立により人口増加の狙いがある事業と考えるが、時代の変化に伴って男女の出会い方が変わってきているのでは？と思います。若い人の意見を十分に聞き取りして費用対効果のあるシステム及び事業内容の見直しを検討されたい。

③人口が減少する中で、婚活支援は必要だと思うが、支援の在り方については見直しが必要と思われる。また、ひとり親家庭の課題もあると思うので、幅広い年代での婚活の支援に繋がれば良いと感じる。

④費用対効果がどの程度なのか、しっかりと把握できていないと、進めてもあまり効果が出ないのではないかと思う。今の若い人達、また、結婚を希望している人達には、もっと違う手法があるのでは？  
折角予算を組んであるのだから画期的な事業ができないか。

⑤民間の婚活事業者と比べれば、本人負担費用が安く済むのは良いが、入会しやすさはどうだろうか。年齢、婚姻歴など問わないのは入会しやすいが、もう少し気安さみたいなものがほしい。また、事業自体があまり知られていない感がある。社会人である独身男女についてはもっと宣伝する方法があってもいいのではないだろうか。

⑥晩婚化、未婚化が人口減少の要因ということもあり、重要な課題に取り組む事業である。若い方の中には出会いを求めている声を聞くこともある。今後はAIアプリを活用するなど、新しい生活様式の中での取り組みを検討いただきたい。

今後の事業  
実施の方向性

その他の見直し

詳細

結婚の意思や、経済的準備が整っている若者等への支援(小結び【お見合い】や、中結び【5対5】のイベント)が厚い一方、ゆるやかな出会いの場の提供などが不足しているため、訴求対象の選択と集中により、バランスのとれた支援を行う。

備考

予算額 令和4年度：6,986千円  
令和3年度：7,369千円